

## 「海フェスタにいがた」・「水と土の芸術祭 2018」の開催について

いよいよ新潟開港150周年に向けコア期間がスタートします。

キックオフイベントとして、日本最大級の海の祭典「海フェスタにいがた」を7月14日（土）に開催します。キックオフを祝う祝賀イベントのほか、海のことろ分かる展示・体験や船舶の一般公開など、16日間の会期中を様々なイベントで盛り上げます。

また、新潟開港150周年メイン事業「水と土の芸術祭 2018」も同日開催。

万代島多目的広場とゆいぽーとの他、全18会場で様々なプロジェクトを開催します。

つきましては、より多くの皆様に向けて、新潟開港150周年記念事業への参加を促していくとともに、みなとまち新潟を一緒になって盛り上げていただくための広報にご協力をお願い申し上げます。

### ■海フェスタにいがた

会期：7月14日（土）～7月29日（日）

会場：新潟市、佐渡市、聖籠町

公式サイト：<http://nii-port.com/umi/>



### ■水と土の芸術祭 2018

会期：7月14日（土）～10月8日（祝）

会場：万代島多目的広場（メイン会場）、ゆいぽーと（サテライト会場）  
ほか全18会場

公式サイト：<http://2018.mizu-tsuchi.jp/>

### ■市報にいがた 新潟開港150周年記念号（7月1日号）

<http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/koho/kohoshi/shiho>

[/backnumber/h30/shiho180701/index.html](http://www.city.niigata.lg.jp/shisei/koho/kohoshi/shiho/backnumber/h30/shiho180701/index.html)

#### 【お問い合わせ先】

○報道資料について： 広報課 TEL:025-226-2085

○海フェスタについて： 港湾空港課 TEL:025-226-2739

○水と土の芸術祭2018について：

文化創造推進課 TEL:025-226-2624

### この夏思いっきり海を楽しみませんか？

日本最大級の海の祭典「海フェスタにいがた」が7月14日からスタートします。キックオフを祝うイベントのほか、海のこと分かる展示・体験や船舶の一般公開など、盛りだくさんの16日間！



たのしみ  
しています



新潟海洋少年団  
左から岩崎さん(高1)、岩崎さん(小6)、  
藤間さん(中1)

# UMIFESTA NIIGATA

# 海フェスタ にいがた

新潟開港150周年記念

市長随想 **ひこうき雲** 166

### 開港150周年盛り上げを

開港150周年の盛り上げコア期間がいよいよ今月14日から始まりです。「海フェスタにいがた」に加え、水と土の芸術祭2018」がメイン事業となります。150周年の節目を、市民みんなの力で盛り上げましょう。

江戸時代末期の1858年、徳川幕府は欧米5カ国に開港を迫られ、新潟など5つの湊を開くことを約束しますが、これは「奇跡」と私は思っています。と言うのも、新潟は長く長岡藩の湊でしたが、江戸末期に薩摩が取り扱った抜け荷(密貿易)の品が新潟湊で2度摘発され、「監督不行き届き」を理由に新潟湊を幕府が天領とした経緯があるからです。

欧米の列強は本州日本海側に開港地をつくることを求め、幕府は天領となった新潟を提示します。しかし、当時の新潟湊は土砂で水深が浅くなり、沖で停泊した船から舳(はし)で荷を揚げる状況でした。新潟を視察したロシアやオランダの船は「ほかの湊を提示せよ」と迫りますが、幕府は天領となった新潟湊にこだわります。結局は補助湊として佐渡の夷港(えびすこう)を

使うことで決着しますが、新潟開港は1869年1月1日にずれ込みます。しかし、貿易が振るわなかったため、列強諸国の領事館は相次いで撤退し、新潟湊は苦難の時代を送ります。明治末期から先人たちは「築港」に取り組みますが、新潟港の重要性が高まるのは、上越線によって東京と直結し、満州への最短航路となった昭和6年でした。その後も太平洋戦争で米軍による機雷投下で港湾機能が壊滅する事態に陥りました。

先人たちはその苦境を乗り越え、新たに新潟東港を建設するなどの挑戦を繰り返して、本州日本海側で群を抜く拠点港を築き上げました。

開港150周年は、その新潟港を国内外にアピールする絶好の機会です。幸い、新潟西港周辺には湊にいたの名残を伝える花街や芸妓文化が色濃く残っており、いま話題のクルーズ船もことは西港だけで11回の寄港があります。

この機会に日本遺産となった北前船文化をネットワークし、みなとまち新潟の素晴らしさを大きく発信していきましょう。



藤田 昭

### 目次 CONTENTS

#### | 特集 |

新潟開港150周年記念

## 2・3 海フェスタにいがた

水と土の芸術祭2018

## 4 にいがた CITY NOW

- 消防艇デザイン市民投票
- ニイガタ安吾賞推薦を
- 千の風音楽祭出演者募集
- “野菜 de ちょいしお”メニュー
- 政策アドバイザーフォーラム

## 5 連載 歴史探訪・シニア通信

おでかけナビ

他3ページは区役所だより

\*今号から市報にいがたをリニューアルしました。  
月2回(第1・3週)発行し、第2・4・5週の発行はありません。



